＝ニュースレター７月号＝

No.TRENGW-2507

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、
安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

2025 年度　役員新体制

6 月 26 日の株主総会で、当社の今年度の役員が決まり、新体制がスタートしました。

今後も、東レグループの一員として、社会の発展と課題解決に積極的な役割を果たし、すべてのステークホルダーにとって高い存在価値のある企業を目指します。

後列左より　萩原監査役、森取締役、樋口取締役、富田取締役、井澤取締役
前列左より　小林取締役、多嶋取締役、髙田社長、北野代表取締役、川端取締役

代表取締役	髙田昌彦	社長
代表取締役	北野真也（非常勤）	
取締役	多嶋智明	保全事業本部長
取締役［新任］	川端康二	エンジニアリング事業本部長
取締役［新任］	小林敬吾	管理・調達部門長
取締役	樋口博之（非常勤）	
取締役	富田浩史（非常勤）	
取締役	森　俊典（非常勤）	
取締役	井澤　宏（非常勤）	
監査役	萩原直樹（非常勤）	

（公社）日本プラントメンテナンス協会（JIPM）　改善事例発表大会において感動賞受賞！

６月は JIPM の設備管理強調月間で、その行事として全国各地で改善事例発表大会が開催されました。

６月 11 日に富山で開催された北陸地域の大会において、当社の石川保全事業部の吉岡晃汰が「ナイロン工場　ワインダー整備のＤＸ化」と題して発表しました。

ナイロン糸の製造工程において、ワインダー（巻き取り機）のトラブルが増加している中、現場での保全対応では効果的な対策が難しいため、整備室でのトータルメンテナンスによる予防保全を進めることとしました。この活動に取り組む中で、整備作業方法の効率化を進めるとともに、ワインダーの管理強化のため、Power BI でのデータ分析、ダブレット端末や QR コードの活用を進めました。その結果、2023 年度は 2022 年度に比べトラブル件数を 21%削減することができました。目標の 2026 年度の全台整備完了を目指し、メンテナンス項目の適正化や更なる DX 化に取り組んで参ります。

今回の発表では、当社の取組みに対し、会場の参加者の方から多くの共感を頂き、感動賞を受賞することができました。

（担当部署：石川保全事業部　Tel:0761-51-7510）

従業員業績説明会を開催

６月７日　愛媛事業場

６月 4 日から 12 日に 3 拠点（滋賀、愛媛、石川）で、業績説明会を開催しました。できるだけ多くの従業員が直接社長の説明を聴けるよう、Teams も活用しての開催となりました。

出席した従業員は、社長から 2024 年度の業績や今年度の予算、事業環境等について分かりやすい説明を受け、また本部長、部門長、各事業部長からも各事業の業績や今年度取り組む重要課題などについて説明を受けました。

（担当部署：総務部　Tel:077-534-0956）

６月４日　滋賀事業場

６月６日　石川事業所

事業を通じた SDGs　取り組み事例を追加しました

ＥＶトラック充電設備設置

事務所のエアコンにハイブリッドファンを設置

環境負荷の低いハンドソープに変更

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS